

秋のぶらんぶらんフォーラム

新米であいにほん！

～楽しく笑って、食べて、おしゃべりして、免疫力UP～

あいぶらんどの新米と旬の食材を使った料理を頂きながら、あいコープのこと、料理のことなど、いろいろなことをおしゃべりしながら、おいしく楽しい時間を過ごしましょう！

内容は各地区のお楽しみで会場によって違いますが、ご自分の地区以外のフォーラムにも参加できます。

皆さんの参加をお待ちしています。（あいぶらんどのお米は白米はもちろん玄米も放射能は不検出です。）

No	地区	とき	ところ	No	地区	とき	ところ
1	石巻	11/15(火)	本草園会館	6	太白	11/29 (火)	太白区中央市民センター 調理室
2	若林・宮城野	11/22(火)	七郷市民センター 調理室	7	石巻	11/29 (火)	若葉集会所
3	泉AB	11/25(金)	桂市民センター 調理室	8	宮城野・若林	12/1(木)	田子市民センター 調理室
4	名取岩沼 亘理	11/29(火)	名取市那智が丘 公民館 調理室	9	しおさい	12/2(金)	多賀城山王地区公 民館 調理室
5	青葉B	11/29(火)	青年文化センター クッキングルーム	10	青葉 A	12/2(金)	エルパーク仙台 クッキングルーム

*会場変更になりました。
岩沼中央公民館
調理室

時間：各会場 10:00～(受付9:45～)

配布済みのチラシや地区からのお便りでお申込みください。

生産者支援金(第二次)のお願い

皆さまからの生産者支援金の一次集約分900万円を被災生産者6社にお届けすることができました。ご協力ありがとうございました。支援金のお届けに生産者を訪問する中で、生産者は復旧復興へ向けて懸命の努力を続けていること、しかしそれはこの先まだまだ長い道程であることがわかりました。そこで第二次の生産者支援カンパに取り組むことといたしました。重ね重ねのお願いでたいへん恐縮ですが、組合員の皆さんのご協力をお願いいたします。

生産者支援金の申込み番号 000701 (1口 200円)

ポイントを支援金にする場合 222223 (1口 500円)

(注文書の特別企画欄に申込番号と口数を記入してください。NET注文も同じ番号です)

放射能測定精度を高める準備をしていきます

このたびあいコーポみやぎでは、東北大大学院環境科学研究科のご協力によって、同研究科に導入された放射線測定装置「ガンマカウンター」を用いて、食品等の放射能測定ができるようになりました。

これによって、今までより数多くの品目を、より精度を高めてモニタリングすることができます。現在、準備に取り組んでおり、11月中にはデータの公開を始める予定です。

◎ あいコープでは、6月にシンチレーションサーベイメーター(アロカ社 TCS-172b)を導入し、「一次モニタリング」を行なってきました。一次モニタリングは「できるだけ数多く測定し放射能汚染の疑いのあるものを発見する」ことを目的としたもので、様々な農畜産物から国の暫定規制値を超える汚染が検出されていた事故後数ヶ月間は、その役割を一定果たしてきたと考えています。

しかし事故から半年を経過し、多くの農産物が公的検査機関での精密検査においても「検出せず」という結果が出る状況になる中で、一次モニタリングの精度を高める検討をしていたところ、東北大大学院環境科学研究科のご協力によりそれが実現できることとなりました。

◎ 同研究科の放射線測定装置は、PerkinElmer 社製 2480 WIZARD2 ガンマカウンターという機種で、放射性核種ごとに検出限界 50Bq/kgまで測定することが出来ます。

あいコープでは毎週約 50 検体をこのガンマカウンターで測定していく予定ですので、農畜産物、水産物、それらを原料とする加工食品まで、汚染を留意すべき品目はほぼカバーしてスクリーニングにかけることができると言えています。

これによって、次のような放射能自主測定の流れを作りたいと考えています。

●一次モニタリング（東北大でのスクリーニング）

- ・核種ごといずれかで 50Bq/kg 超検出の場合、供給一旦停止、組合員へ通知、公開
- ・二次モニタリング（検査機関でのゲルマニウム半導体検出器による公定検査）
- ・再び、核種ごとにいずれかで 50Bq/kg 超検出の場合、引き続き供給停止、公開
- ・生産者へ原因調査と対策を要請
- ・その結果を踏まえて、あいコープにて供給可否判定
- ・組合員への報告・説明

出来るだけ早く、新たな放射能自主測定体制の準備を整え、11月中には運用を開始したいと考えています。

あいコープは今後も、組合員の皆さん的安全安心を高めるために努力を重ねてまいります。

お 祝 福 と め ぐ る



高橋徳治商店 優活!!

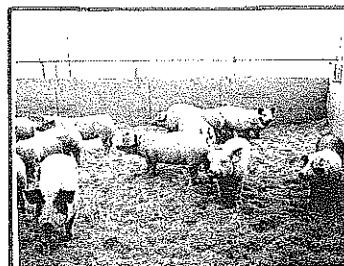
11月4回でおとうふは揚げが企画されます。

石巻市川口町に建つ⑥(マルト)高橋徳治商店は、3.11大震災の津波によって工場の二階まで浸水しましたが、高橋社長を始め従業員の皆さんは無事でした。水が引いた後、瓦礫とヘドロが流れ込んだ工場を前にして高橋社長は時にくじけそうになりながらも、泥出しを黙々とはじめました。

その後、あいコープをはじめ、高橋徳治商店の無添加練り製品に親しんできた全国の生協から職員や組合員が応援に駆りつけ工場の再開に向けた瓦礫撤去、ヘドロ出し、建物や機械の洗浄を高橋社長と一緒に半年間続けてきました。

そしてようやく1本の製造ラインを動かすまでになりました。まずは1品ですが久しぶりのマルトさんの製品が11月4回で復活します。皆で注文して、マルトさんの復活をお祝いしましょう。(あいコープみやざでは3000個の枚数を目指します。)

商品部 豊嶋、馨



田尻

あいコープみやざハイロットラーム
あいちゃん牧場

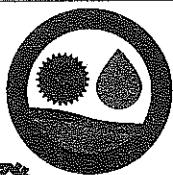
●あいコープみやざ職員 豚舎造りに行く●
9/17(土)~18(日)

初秋とはいえ、まだ暑さの残る日。7人の職員と田尻町のあいちゃん牧場へ行ってきました。

あいちゃん牧場には現在、ハウス8棟に、豚約100頭、牛13頭が飼育されています。そこでの豚舎と牛舎となるハウス造りに参加しました。このあいちゃん牧場には、私と同世代の若手職員がいます。彼は、あいコープみやざの組合員さんに、豚・牛がどういう風に育てられているのかと、もっと知つてもらいたい。見学に来てもらいたい。と熱く語っていました。私も作業を通じて、どれだけ牧場職員が豚・牛への思いが深いか、直に感じることができました。

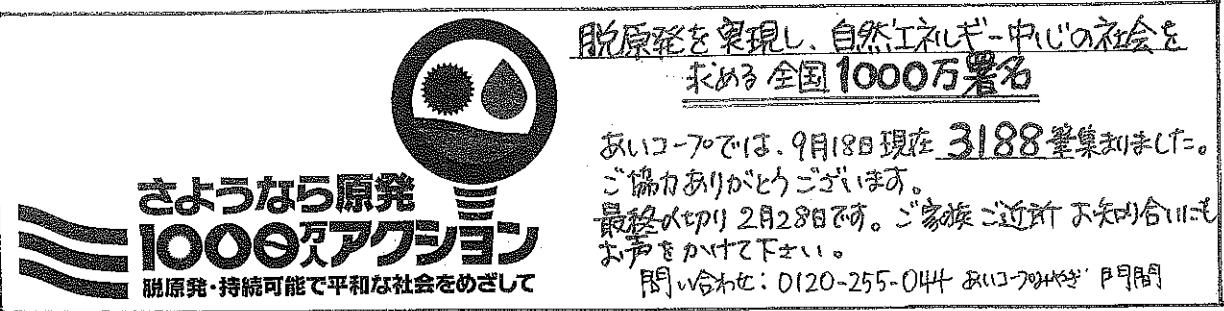
皆さんも、いつか、大自然に囲まれてあいちゃん牧場に行つませんか?

事業部供給課 佐藤好則



脱原発を実現し、自然エネルギーの社会を
求める全国1000万署名

あいコープでは、9月18日現在3188筆集まりました。
ご協力ありがとうございます。
最終〆切は2月28日です。ご家族ご近所ご知り合いは
お声をかけて下さい。
問い合わせ:0120-255-044 あいコープみやざ 門間



生産者 つうしん!!

大震災後、あいコープみやざの生産者のみなさんは、どんな被害があり、どんな苦労かがあったのでしょうか?組合員の私たちも、生産者のみなさんのニオイからの復興復旧に向けて皆の力を合わせて貢献していきましょう。

夫婦三人三脚で 爰わらぬいよいよ!!

柴田町 手塚利一郎商店

3.11の大震災時、手塚さんご夫妻は、工場で大豆の商談中だったそうです。すごい揺れとともに、工場内の納豆と蒸す大きな鍋や、生産ラインの大型機械が大きな音を立てて動き、壁や床などにたくさんの亀裂が入りました。でも幸いなことに、従業員の方々、ご家族の皆さんは無事でした。

当日、いつものように大豆を次の日の出荷のために水に浸してました。電気も水道も止まっている中、なんとかここにある大豆と納豆になければ…と。外は雪の降る夜中の3時までかかって仕込みをして、次の日の朝を迎えたそうです。そして出来たての納豆を支援物資として届けに歩いて、喜んでいたいなどのこと。

「納豆作りは、その日の気温や発酵温度によって変わら豆の状態に、細やかに気を配りながらの作業なんだよ。」

取材に伺ったこの日も、ご夫婦息の合ひ合つたあたりぶりで、27年前の開発当初からの爰わらぬいよいよを届けてくださいました。

理事 吉野まつ

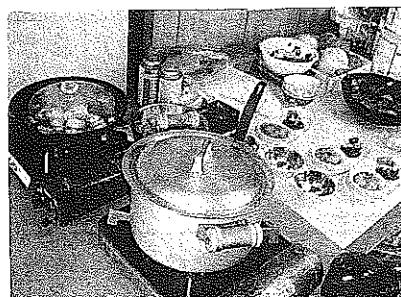


てづかさん3納豆



手塚さんご夫妻
(覚さん、利子さん)

ケヤケルーフ「木もれび」
元気です!



10月の暖かい屋下がりに、宮城県仙台市にあるケヤケルーフ「木もれび」におじゃまできました。

3月11日震災のあと、ヘルパーさんはすぐに利用者さんの安否確認、ハウカーキー、ダイバービスにいらしていただき、幸い全員が無事でした。

ダイバービスは3月23日から再開。ガスが来ない中、食材はあいコープに届いた支援物資等を使い、卓上ガスコンロでお邊じ飯を作っていたのです。

この頃は利用者さんも落ち着いてまた様子で、当方も居間で利用者さんがスタッフと談笑していました。

理事 斎藤郁子